



2019年5月13日

各 位

会社名 前澤化成工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 窪田 政弘
 (コード番号 7925 東証1部)
 問合せ先 取締役兼上席執行役員管理本部長
 伊東 正博
 (TEL : 03-5962-0711)

2019年3月期 通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2018年5月14日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 2019年3月期 連結業績予想数値との差異(2018年4月1日~2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,600	630	810	480	31.92
今回実績(B)	22,243	734	976	662	44.30
増減額(B-A)	△ 356	104	166	182	—
増減率(%)	△ 1.6	16.6	20.6	38.0	—
(ご参考)前期連結実績 (2018年3月期)	21,865	498	757	134	8.93

2. 2019年3月期 個別業績予想数値との差異(2018年4月1日~2019年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,100	780	460	30.59
今回実績(B)	20,426	931	618	41.35
増減額(B-A)	△ 673	151	158	—
増減率(%)	△ 3.2	19.5	34.4	—
(ご参考)前期個別実績 (2018年3月期)	20,293	840	234	15.57

3. 差異が生じた理由

連結業績につきましては、売上高は予想値を下回ったものの、水処理分野における大型工事案件の受注獲得や食品関係を中心としたメンテナンス関連の受注が好調であったことに加え、各種プラスチック成形分野において既存顧客からの受注増の他に新規顧客からも多くの受注を獲得できたことなどから、営業利益で予想値を上回りました。また、非常用浄水装置「エモータブル」の製品回収関連費用の戻りを特別利益として計上したことで親会社株主に帰属する当期純利益は、予想値を大きく上回ることとなりました。

個別業績についても同様の理由で実績値と差異が生じました。

以上